



ときのまど

時の窓

TOKI NO MADDO

No.188

2016/6/7

全国各地 新採用職員歓迎会などのようす

2016年4月、全国各地の裁判所では、290名を超える職員が新たに採用されました。裁判所にある唯一の労働組合「全司法」は、新採用職員のため、職場の先輩などを中心に歓迎会等を実施しました。「青年をひとりぼっちにしない」とりくみ。今号は、各地区から、その様子を全国にお届けします。

地震で延期・・・でも、全員参加！！

九州では、4月上旬のうちに、各支部において新採用職員歓迎会が開かれました。あとは高裁研修時の歓迎会を待つばかり・・・としていたところ、地震により高裁研修自体が延期されるというまさかの事態に・・・。

その後、GW明けに研修が再設定され、歓迎会はその初日である5月9日に開催し、研修生全員(27名)が参加してくれました。おいしい中華に舌鼓を打ちながら、先輩組合員や同期たちと、裁判所にまつわるエトセトラ、新天地での生活、学生時代の思い出等々、ざっくばらんに会話を楽しみ、最後に当日誕生日の参加者にハッピーバースデー！をしちゃうなど、みなさん楽しく過ごされたことかと思えます。もちろん、組合のお話もしてきましたよ！参加してくれた新採のみなさんに・・・届くかな、届くといいな！（元ネタわかった人、いつか語りましょう笑）

歓迎会の翌日には、参加者全員にアンケートを提出していただきました。「多くの先輩職員から色々話が聞けた」「みなさん優しくかった」「はじめから終わりまで盛り上がった！」「組合説明の話も印象深かった」等々の感想、本当にうれしいです。ありがとうございました！

未加入者への勧誘はまさに今が正念場。一人でも多くの方に「組合加入」＝「裁判所のことを思い、行動している！」という自負を持ってもらえるよう、あと一押し頑張っていきましょう！（九州地区担当常任委員）

九州



地道なとりくみで、組合活動を体感してもらう

四国では8名の職員(香川4名、徳島2名、愛媛2名)が採用され、各青年部が勧誘の呼びかけを行ったところ、現在までに徳島で2名の加入がありました。

徳島の青年部は、採用直後に昼食会に誘い、本庁青年部員(ほぼ)全員と食事を楽しんでもらった後、全司法の活動を具体的に説明するためのアポイントを取りました。パンフレットとともに、徳島の教宣紙「うず」を手渡し、丁寧に説明しながら加入を呼びかけたところ、その場で1名が加入してくれました。もう1名の方は「きちんと教宣紙、パンフを読ませてください！」と言ってきて、その数日後に、笑顔で、加入届を届けてくれました。

香川では、採用初日に歓迎会を行い、その後も少人数での懇親会に誘うなどして、積極的に友好を深めています。愛媛は現在、新採用者につながりを感じてもらえるように、青年部の歓迎会が進行中です。

昨年に引き続き100%加入をめざし、今後は支部間で情報共有を行いながら、未加入者には加入の呼びかけを、加入してくれた方には、青年部が中心となって、女性部や支部等と連携して、丁寧なフォローを行っていくことが重要です。例えば、徳島では、加入してくれた2名の方に興味を抱いている部課室を指名してもらい、その部課室の組合員との間で懇談(対談)を行う予定です。このようなとりくみによって、横の繋がりを感じてもらうとともに、懇談の様子を、教宣紙に掲載することで、組合活動を体感してもらうことを企画しています。(四国地区担当常任委員)

四国(徳島)



中部



三重・石川100%加入！ 組合は「仲よし」「頼りがいがある」

中部地連が主催する毎年恒例の歓迎会。総勢60名以上の参加で大盛り上がり！

おいしいお酒を飲みながら、愛知支部の先輩青年部員と仕事の悩みや疑問など気軽に話をしたり、アドバイスなども飛び交ったりで会話も弾みます。ミニゲーム企画の「イメージビンゴ」では、「東海北陸6県の名産と言えば??」のお題に、意外と苦戦…。なかなか思いつかないものですね。「組合と言えば??」のお題には、「仲よし」「仲間」「頼りがいがある」などの嬉しい回答も飛び出しました！

中部地区では、三重支部(6名)と石川支部(1名)が早くも100%加入を実現していますので、今後他支部も続いていきたいと思えます！

新採用のみなさん、悩んで、踏ん張って、自分のペースで、前に進んでいきましょう！同じ職場で働く仲間として、今後ともよろしく願っています！
(中部地区担当常任委員)

毎年恒例マグロ解体ショー！その場で8名加入

昨年に引き続き、ブロック研修に合わせて地連主催の歓迎会を開催しました。今年の新採用者は、札幌支部13名、旭川支部1名で、釧路支部と函館支部には採用者がいませんでした。地連主催の歓迎会には、新採用者13名、各級機関役員と組合員27名が集まり、旭川支部からも役員がかけつけてくれました！

歓迎会の導入として、全司法という労働組合がどんなことをしているのか、そのなかでもとりわけ青年層で行っていること(レク活動や暮らしむきアンケートなど)を中心に説明を行い、その後の懇親会では、毎年恒例の『マグロ解体ショー』を実施しました。

所属部署ごとにテーブルをわけたため、これからの仕事のことや、プライベートでの過ごし方などを和気あいあいと話してくれました。また、今回は札幌支部青年部からの出席者を多く募ったので、参加者同士、年が近いということもあって最後の最後まで話が尽きないようでした。

参加者のうち、調査官を含め8名が全司法に加入してくれました♪その次の週には札幌支部の青年部が主催する歓迎会も実施され、さらにそこでも1名が加入されました！
(北海道地区担当常任委員)

北海道



友好祭典を開催！「集まる楽しさ」伝わる

近畿地連管内では、ほとんどの支部で、4月早々に歓迎会を行い、歓迎会が後日になるところについても、フレッシュセミナーの昼休みを利用してガイダンスを行い、まずは組合の意義についてお伝えしました。

今年も昨年に引き続き、早い段階で加入の呼びかけを行っていかうということで各支部では歓迎会や説明の際に加入届を渡し、その場で書いてもらえないかと呼びかけました。その結果、神戸支部や和歌山支部では即日加入に結びつきました。

また、毎年開催している近畿地連友好祭典に、昨年からは未加入の新採用職員の方についても参加を募っており、今年も4月29日に開催し、10人以上の未加入の方に参加していただきました。その結果、友好祭典後に奈良支部と和歌山支部で新たな加入があり、これは、レクなどで集まる楽しさを感じてもらえたり、多くの青年組合員と直接話すことで加入への不安感が無くなったためではないかと、友好祭典の効果として感じています。

今後、未加入の方のみならず、新しく加入した方に対しても、組合について真摯に説明し、青年部等が行うレクではしっかり楽しんでもらえるよう頑張ります。
(近畿地区担当常任委員)

近畿



議長が説明！話題が広がるように工夫

東北地連では、4月19日に高裁ブロック研修中の新採用職員21名を迎え、青年協から山本議長、東北地連及び宮城支部の役員、青年組合員を交えて、総勢38名で歓迎会を実施しました。

出身や勤務地、現在の仕事内容など、なるべく新採用職員と組合役員、青年組合員同士で話題が広がるような座席の配置を検討し、当日に臨みました。

はじめに、山本議長による組合の意義や必要性、活動内容などについての説明を30分程度行い、組合に対する知識を深めてもらう時間を設けました。

乾杯後も座席配置の効果などもあってか、新採用職員と組合員との会話が昨年に比べ格段と増えたのではないかと思います。その中で裁判所職員生活の中での不安や、書記官試験、異動についての心配など、多くの話題について触れながら懇親を深めました。

その結果、歓迎会の中で1名の新採用職員から加入届を提出してもらうことができました。4月の新採用職員の加入者はまだ2名と多くはありませんが、今後も各支部や青年部・青年対策部と連携を取って継続的な加入呼びかけを行っていきます！

(東北地区担当常任委員)

東北



5年ぶりの友好祭典にむけて積極的に声かけ

中国地連主催の新採用歓迎会を4月20日に開催しました。高裁研修の中日という日程ながら、14名の方(うち12名は加入済み)に出席いただきました。

当日は、新採用者が配属された部署に近い先輩職員を傍に置くことで、各テーブルともに話が盛り上がり、和やかな雰囲気よかったです(常任のあいさつも聞こえないほどに…)。ただ、その日の目標としていた、未加入者の当日の加入にまでは至りませんでした。今後の呼びかけへの足掛かりはできたかなと実感しております。

また、中国地連では、今秋に5年ぶりに友好祭典を開催することが決まっており、より多くの青年部員の参加に向けて、この度の新採用者も中心に参加していただきたいことから、今後とも、現時点での未加入者に対しても今後とも積極的に加入に向けた声かけを行っていききたいと思います。
(中国地区担当常任委員)

中国



新潟支部で全員加入！加入の報告続く

東京高裁、神奈川、埼玉、宇都宮、静岡、甲府及び新潟の各支部で新採用職員の加入が実現しました。新潟支部については、全員が加入です。

東京地区では、毎年、各支部で、新採用職員を対象とした歓迎会やガイダンスを開催しています。昨年に引き続き、支部と青年協・地連が協力しながら、新採用職員に対して組合の説明と加入の呼びかけを行い、今年も、各支部の熱心なとりくみが、新採用職員の加入につながりました。

東京地裁支部では、三日間に分けてガイダンスを行い、さらに歓迎会を行うなど、重ねて働きかけを行いました。また、神奈川、宇都宮、静岡、新潟などでは、採用初日に歓迎会を行いました。早めの呼びかけが、加入につながったように思われます。

新採用職員に話を聞くと、新しい環境や働くということに、不安を抱えていることがわかります。職場における労働組合の役割や、加入によって仲間とのつながりが得られるということをアピールしました。

今後加入の呼びかけを続け、新しい仲間とともに、全司法の輪を広げていきます！
(東京地区担当常任委員)

東京



熊本地震の状況について

九州地区から

4月14日21時26分に前震、同月16日1時25分に本震が発生し、いずれも東日本大震災以来の震度7を記録するなど、熊本、大分両県を中心に大きな被害が発生した『平成28年熊本地震』について、九州地区担当常任委員から、現地の様子等を報告してもらいます。

官舎近くの公園で夜を明かす 耐震補修がなかったら・・・

先の熊本地震において、被災された皆さんに、心からお見舞い申し上げます。
熊本支部青年部の方に貴重なお話を伺うことができましたのでご紹介します。前震を自宅で受けたあと、住まいの官舎近くの公園で、多数の住民の方と共に夜を明かし、翌日出勤したこと。とりあえず夜は避難所に身を寄せつつ、収束するかと思っていたところに、前震より明らかに大きな揺れを伴う本震を受け、非常に怖かったこと。官舎はクラックがいくつもでき、室内は棚が全て開いて中のものが散乱し、ガラス類が多数壊れてしまったこと。たまたま湯船に水を張っていたため水にはさほど困らず、事前の備えの重要性を意識したこと。ガスの復旧が遅く、お風呂に苦勞することなどを述べられていました。築半世紀程度の官舎は耐震補修がなかったらと思うとゾッとする旨の感想が、特に印象に残っています。

支援物資に激励のメッセージ 勇気づけられ、助けられた

地震後、全国から多数の物資が届けられ、特に仙台からの支援物資が入った段ボールに激励のメッセージが寄せられていた等のお話を聞き、筆者も胸が熱くなりました。九州地連からも、熊本支部と連携を取りながら、独自の支援活動を計画し、委員長、書記長の二人が果物を中心とする生鮮食品を、全職員を対象にして現地に直接お届けしました。

これらの物資に関して、先にお話をお聞きした青年部の方からは、全国からの物資に非常に勇気づけられ、助けられたこと。青果が不足していたため、組合からの物資もありがたかったこと。全国の皆さんに謝意を伝えてほしい旨聞き及んでいます。

熊本地震救援カンパ ご協力ありがとうございました

なお、全司法が全国でとりくんだ『熊本地震救援カンパ』について、多くの組合員の皆様のご協力をいただきました。この場を借りて御礼申し上げます。

(九州地区担当常任委員)

最高裁はかく語りき

コラム
Vol.9

実務修習中の超過勤務について

【全司法】

調査官補の健康面に配慮する観点から、グループ修習中は超過勤務が生じないように留意すること。また、やむなく超過勤務が生じた場合は、きちんと超勤申請を行うよう管理職員から指導すること。

【最高裁】

実務修習中は、無理のないカリキュラムが組まれており、通常は、超過勤務を行うようなことは少ないと思われるが、**実務修習中の勤務時間や超過勤務の取扱い**は、**他の裁判所職員と同じ**であり、職員の申告に基づいて超過勤務の認定を行う場合には、必要な超勤について、その時間を申告してもらうことが必要と考えている。

家裁調査官補に対しては、上司による日常の指導の際に、超過勤務の申告について必要な説明等をしていると認識しているし、今後も、下級裁に対し、適切な対応をしていくよう指導していきたい。

2016年諸要求期における最高裁人事局総務課長交渉(本部)

編集後記みたいなもの

青年協議長の山本です。

今号では、全国各地で開催された歓迎会のようすや「平成28年熊本地震」の現場の状況等についてとりあげさせていただきました。

全国各地で新採用職員を歓迎できることから、震災にあわれた職員を支援できることから、「全司法」が裁判所で唯一の労働組合であり、全国組織であるということであらためて強く実感させられます。

「みんなでみんなを支え合っていく」

そんなとりくみをこれからも実践していきたいと考えています。

最後に、ご自身の状況が大変な中、貴重なお話を聞かせていただいた熊本支部青年部の方には、九州地区担当常任委員とともに、深く感謝申し上げます。ありがとうございました。

次号予告

第4回常任委員会 & 最高裁交渉